



「でっかいおたまじゃくし、見つけたよ」

7/7 水辺の観察

広報  
なんたん

もくじ

- 2 南丹市総合振興計画「基本構想」を策定
- 6 8月1日 南丹市役所が新体制でスタート
- 8 今こそライフスタイルを見直し、省エネに取り組みましょう!
- 12 いきいき南丹／ぶらりなんたん ～田歌の神楽～
- 14 図書館へようこそ／人権の窓

7月号

2007年 Vol.19

## 南丹市総合振興計画「基本構想」を策定

## 森・里・街がきらめくふるさと南丹市



▲原生林

を策定しました。

## 「基本構想」とは

「南丹市総合振興計画」は、旧四町による合併協議の中で策定された「新市建設計画」を踏まえながら、南丹市を今後「このようなまちにしよう」という将来像を掲げ、市が行うこと、市民が行うこと、市民と行政とが力を合わせて進めていくことなどの方向性を示すまちづくり計画で、基本構想、基本計画、および実施計画により構成されます。

このうち、十年後（平成二十九年）の南丹市を展望し、まちの将来像とこれを達成するための基本方針を示し、まちづくりの指針となる「基本構想」について、地方自治法の規定に基づき、議会の議決

策定にあたっては、昨年十一月二十九日に佐々木市長から南丹市総合振興計画審議会（会長 松村賢治京都伝統工芸大学校長）に計画策定の諮問がなされ、以後同審議会では、市民三千人を対象と

した「まちづくりアンケート」や、市内各種団体からの「聞き取り調査」の結果などをもとに熱心な議論が重ねられ、五回の全体会を経て基本構想がまとめ上げられました。

## まちづくりのテーマ

みんなの笑顔 元気を合わせ  
誇るときぎすなで未来を創る

平成十八年一月一日、園部町、八木町、日吉町、美山町の合併により「南丹市」が誕生しました。

これまで、それぞれの町では固有の地域特性と誇りを持ち、個性あるまちづくりを進めてきました。今後は地域や世代を超え、まぶしい笑顔、

やる気いっぱい元気な合わせ、誇るときぎすなを大切に、いつまでも生きがいを持って安心して定住できる南丹市をみんなで創る、という想いをまちづくりのテーマとしました。

また、十年後の南丹市の姿を「森・里・街がきらめくふ



▲八木中学校体育祭

るさと南丹市」とし、私たちの誇りであり、長い時間の中で創られてきた暮らしの舞台である、ここにしかない「森」「里」「街」に磨きをかけ、これから大きく変わろうとする時代にきらめく、いつまでも住み続けたいふるさとを目指します。

# まちづくりの基本目標

## 施策の柱となる

### 四つの構想

市民と行政とが共に築く「協働のまちづくり」を基本に据え、施策の柱となる四つの構想を設定しました。

#### 生きがい定住都市構想

生涯、充実して暮らせるため、出産・保育・教育・就労・老後に至るライフサイクルに対して、自立と生きがいを支援する体制を整え、関係機関との連携を深めます。



▲子宝祝金支給認定式

●安心して子育てできるまち  
●豊かな緑と清流を守る  
●資源が循環するまちをつくる

を目指す

●明日を担い、内外で活躍するひとを育てる

●生涯にわたって学び、生かす機会をつくる

●医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する

●ふるさとで働ける場を増やす

#### やすらぎの郷構想

南丹市は、「面積の九割近くを森林が占めており、京都府を代表する二つの河川（由良川・桂川）の源流域にあたるなど、豊かな自然に恵まれ、温かい人情と落ち着いた佇まいが残り、豊富な観光資源があります。

●豊かな緑と清流を守る

●資源が循環するまちをつくる

●安心して子育てできるまち



▲美山・かやぶきの里

る

●南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる

●ひとを温かく迎える

●伝統文化を継承する

●温泉を活かす

●暮らしの安全と安心を守る

#### きずなと交流のネットワーク構想

南丹市は、高速道路や鉄道などの広域交通網が充実していますが、南北・東西ともに広く、移動には時間がかかります。

●高速移動の網を広げる

●鉄道をさらに便利にする

●安全で快適な主要道路でつなぐ



▲複線化間近なJR嵯峨野線

まちをつくりまします。また、地域と世界をつなぎ、双方向のやり取りができる情報環境をつくるため、情報基盤の整備と、その活用の充実を進めます。

●高速移動の網を広げる

●鉄道をさらに便利にする

●安全で快適な主要道路でつなぐ

●誰もが安心な地域交通システムをつくる

●双方方向の情報通信基盤をつくる

●にぎわいの市街地をつくる

#### きらめきパートナーシップ構想

共に考え共に取り組む市民と行政とのパートナーシップ



▲荒岩稲荷神社こどもみこし

によるまちづくりを進めます。このため、地域のことは地域で取り組むコミュニティづくりや、まちの多様な担い手の育成、情報公開や参加機会の充実、住民や地域が得意なことを担いつつ、より効率化を図る行政運営を進めます。

●共に生きるまちづくりを進める

●住民自治の地域づくりを進める

●多様な担い手のパートナーシップを育てる

●大学等と連携し、ともにまちをつくる

●未来を担う人づくりを進める

●行財政改革を推進する

将来のまちの姿

定住人口 三万四千人  
 交流人口 二百五十万人  
 を目指す

わが国自体が、これまでに経験したことの無い人口減少社会を迎えており、南丹市においても定住人口は、平成二

十九年には約四千人が減少し三万二千人になると予測されます。しかし、今後の土地区画整理事業や企業誘致、JR山陰本線複線化による利便性の向上などによって、できる限り人口の維持に努める必要があります。十年後の目標人口を三万四千人としました。観光客数などの交流人口については、現状より約百万人多い二百五十万人を目指します。また、各地域の産業、自然、歴史、文化やこれまでのまちづくりの蓄積を十分に生かした地域整備、市街地整備を図ります。

自然や地域特性に配慮した四つの「ゾーン」

■ふれあいの森ゾーン

美山地域全域と日吉地域北部を含むエリアであり、農村景観や豊かな自然環境が存在しています。

今後は、これらの地域資源を保全しながら、都市と農村の交流を中心とした地域おこしを推進し、グリーンツーリズムや都市からの移住促進を図るなど、自然とのふれあい豊かな地域整備を進めます。

■やすらぎの田園ゾーン

丹波高原東部の丘陵地帯にあり、日吉地域中南部と八木地域北東部、園部地域北東部を含みます。なだらかな山々

今後は、農・畜産ブランド化の推進などの産業振興や、スポーツ・健康づくりのイベントの開催、余暇施設の充実などの地域整備を進めます。

■にぎわいの市街地ゾーン

園部地域中部、八木地域南西部を含むエリアであり、古くから地域の政治・経済・文化の中心地として発展してきました。また、近年はJR山陰本線電化や京都縦貫自動車道の整備により、都市圏との時間的距離が短縮されました。

今後は、企業誘致の推進、



のまちのすがた 構想図

地域交流軸



ふれあいの森ゾーン

- 芦生原生林
- かやぶきの里 (重要伝統的建造物群保存地区)

やすらぎの田園ゾーン

- 日吉ダムおよび周辺レクリエーション施設
- 農村環境公園

にぎわいの市街地ゾーン

- 大学等の高等教育機関
- 公立南丹病院

のゾーン

高原および温泉施設

# 将来

## 広域交流軸

## 広域交流軸

## 広域交流軸

癒やし  
里山

●るり溪

地元商業の活性化、JR駅前開発、住宅地などの市街地整備を進めます。

### ■癒やしの里山ゾーン

園部町南西部のエリアであり、なだらかな里山に囲まれた田園地帯と景勝地るり溪高

原があります。近年は温泉施設の整備によって、阪神方面からの来訪者が増加しています。

今後は、自然と温泉を生かした観光・レクリエーションを中心とした地域整備を進めます。

## 活動の基盤となる「拠点」

商業や医療、行政サービス施設が集積する園部の市街地を中心とする地域を「都市拠点」と位置付け、南丹市の中心としての市街地整備による多様なサービスの集積を図ります。

また、八木、日吉、美山地域の暮らしの中心となる地域を、「地域拠点」として位置付け、都市拠点と連携しながら行政サービスと住民活動を支援する機能の集積を図ります。

## まちの骨格となる「交流軸」

### ■広域交流軸

京都縦貫自動車道、国道九号、一六二号、三七二号、四七七号の広域幹線とJR山陰本線を「広域交流軸」と位置付け、活発な交流と物流を促すための整備を進めます。

### ■地域交流軸

地域間を連絡する市内の主要な府道、市道および広域農道を「地域交流軸」と位置付け、安全で安心できる道づくりを進め、地域住民の交流を促進します。

## 基本構想の実現に向けて

## 市民と行政とが共に築く「協働」のまちづくり

この基本構想を実現するために、行政の役割を明確にし、市民と行政とが共に築く「協働」によるまちづくりを進めます。

### ●新たな時代にふさわしい

行政のあるべき姿や役割を整理し、スリムで効率的・効果的な行財政システムを目指した改革を進めます。

### ●市民と共に築く

#### 地域経営の確立

自分たちでできることは自分たちですと「自助」、地域でできることは地域ですと「共助」、そして行政は自助・共助を応援するという「公助」、これらのバランスを重視した地域経営体制の確立を図ります。

### ●広域連携

広域的な行政課題に府や周辺地域、関係機関との積極的な連携交流により取り組みます。

▶熱心な議論が交わされた審議会



総合振興計画に関する  
お問い合わせ先

市役所企画情報課

(八月以降は企画推進課)

TEL(0771)6810003

# 8月1日 新体制でスタート



▲ 地域代表説明会

組織の再編強化に係る経過や新体制の概要について、支所ごとに地域代表者の皆さんに説明を行いました。

さまざまな課題に対して、的確・迅速に対応するため、南丹市の組織・機構を再編強化します。

今回の見直しは大規模なものとなるため、経過や変更点などについてお知らせします。

市の新たなまちづくりに向けた各種計画や事業を円滑に遂行するため、六月の議会定例会において、組織機構の再編成に係る条例を提案し、可決されました。

## ■なぜ組織の再編が必要なの？

今年六月に作成した南丹市の財政収支見直しによると、現在実施している事業をこのまま維持すれば、平成二十二年には基金が枯渇してしまいうという非常に厳しい状況です。また、本庁と支所で事務が

重複するなど、非効率的なところもあり、多くの改善の意見や課題提起がされています。このような状況の中、改めるべきところは改め、伸ばすべきところは伸ばすことを的確・迅速に行うことが行政改革の推進につながり、今後の南丹市の健全化、そして発展につながると考えて実施するものです。

また、合併により採用した総合支所機能を存続させるためにも、今回の組織の再編を含め、行政改革を推進しなければなりません。

## ■支所のサービスは？

支所の職員数は減りますが、市民サービスを低下させないよう、本庁と支所がさらに連携を深め、必要なときには、本庁から支所に出向き、市民サービスに努めるなど万全を期していきます。

合併協議で決定されたことを踏まえ、南丹市が希望に満ちた新たなまちづくりを力強く行うために、理事者と職員が一丸となって、組織の再編や行政改革に取り組んでい

きます。ご理解とご協力をお願いします。

## ■再編の基本方針は？

行政運営を進める上では、長期的な視点に立ち、見直すべきは見直し、改めるべきは改め、伸ばすべきは伸ばす「選択と集中」によって、南丹市の新たなまちづくりを推進することは非常に大切なことです。

そこで、次の三点を柱に組織の再編強化を行います。

- ① 総合支所機能を維持しながら、市民が利用しやすい、分かりやすい組織づくりを行う。
- ② まちづくりや各種計画の具体化など、さまざまな行政課題に的確に対応できる組織づくりを行う。
- ③ 財政運営の健全化を図るため、行政改革を推進できる組織づくりを行う。

## ■組織の再編・強化の概要

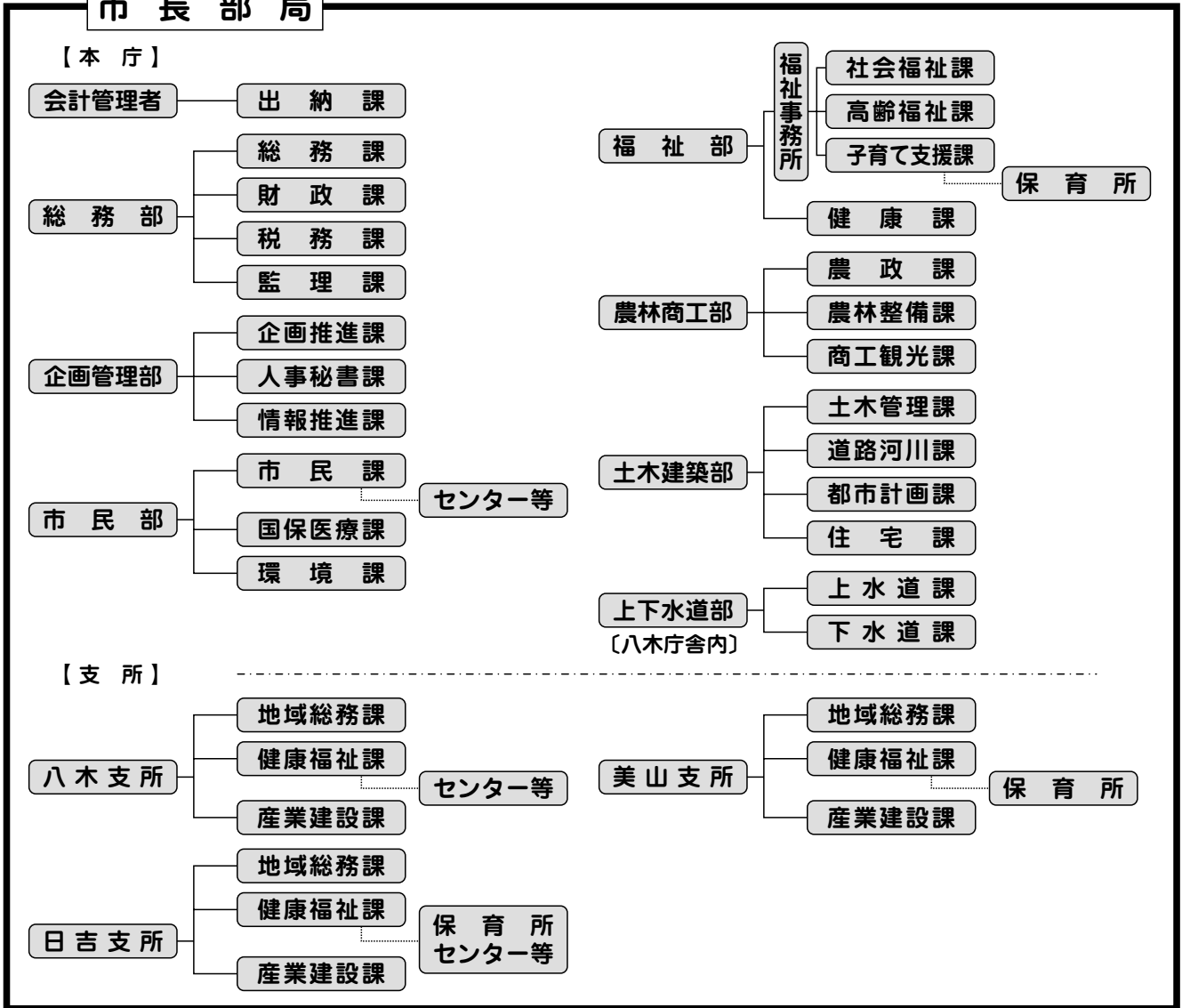
現体制において、十分な業務の執行が図れていない分野や、今後さらなる対応の強化が必要と思われる分野について、部や課を新設・分離します。また、関連する部署と統合することで、効率化が図れるものについては、集約を行い、現行三部二十九課を七部三十三課に編成し直し、体制を強化します。

さらに、園部支所については、本庁と同じ建物に配置されている上、重複する業務があるため、効率化や簡素化を図り、本庁に統合します。ほ



▲ 地域代表者に説明をする佐々木市長

# 市長部局



# 行政委員会



この支所については、現行の四課を三課に再編します。  
 なお、園部支所で行っている業務は、本庁のそれぞれの課が引き継ぎます。八木・日吉、美山の各支所においては、市民サービスを下下させないよう引き続き総合支所機能を維持し、地域振興や消防防災、各種証明書の発行、福祉に関する相談や対応、道路河川の維持管理など、市民に密接な業務を中心に継続します。

■ご意見・お問合せは...

今回の組織・機構の再編強化を通して、行政と市民の皆さんが一体となってまちづくりができるよう取り組んでいきます。

ご不明な点やご意見は、お気軽に左記までお寄せください。

《本庁》総務財政課 (八月以降は総務課)

六八〇〇〇二

《支所》地域総務課

八木支所 六八〇〇二〇

四二一三〇〇

日吉支所 六八〇〇三〇

六八〇〇四〇

美山支所

# スタイルを見直し、 取り組みましょう!

**地球温暖化が  
深刻化しています!**

私たちが普段の生活や産業活動の中で発生させているCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の量を減らしていくことで、地球温暖化は防げます。できることから始めて、みんなの手で地球温暖化をストップさせましょう。

○地球温暖化を進めているのは温室効果ガスです

人間が使うエネルギーの大半は、石油や石炭などを大量に燃焼することによって得られます。これに伴って、大気中に二酸化炭素やメタン、フロン類が大量に排出されています。中でも二酸化炭素は最も地球温暖化に大きな影響を与えています。

主に先進国で大量にエネルギーを消費した結果、大気中に大量に排出された温室効果ガスの濃度が高まり、大気中の熱が吸収されて気温が上昇しています。

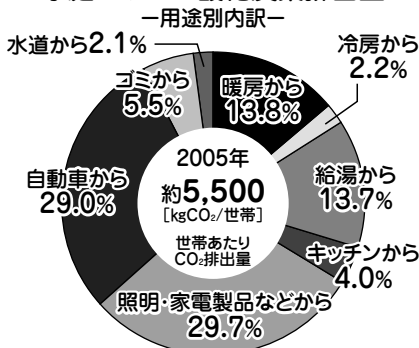
このように、大気中の熱がたまって地球が「温室」のような状態になっています。この状態を「地球温暖化」といいます。

○私たちの生活にも重大な影響を及ぼします

現状のまま温室効果ガスの排出が進み、濃度が上昇し続けると、地球の平均気温は二一〇〇年までに一・四℃から五・八℃上昇すると予測されています。

またこのまま地球温暖化が進むと、台風や大雨、洪水の増加や、マラリアなど熱帯地

家庭からの二酸化炭素排出量



方特有の伝染病が広がるなど、環境に重大な悪影響を及ぼす心配があります。

○一人ひとりの「省エネ」が支える大きな効果

深刻な地球温暖化にストップをかけるためには、一人ひとりが問題意識を持ち、温室効果ガスの排出量を減らすための行動を起こすことが大切です。

近年では家電製品の増加と

## 南丹市の地球温暖化防止対策

南丹市役所では、省エネルギー推進のため、夏季期間(六月から九月)の服装はノーネクタイ・ノー上着による軽装勤務(クールビズ)を実施し、各施設の冷房設定温度は二十八℃を目安に管理しています。

今後、南丹市でも地球温暖化に関する対策を充実し、美しい自然環境を次代につなげるように取り組んでいきます。

現在、市では地球温暖化防止対策の一環として、市民のクリーンエネルギー利用を積

使用時間の増大により、温室効果ガスの排出量が増加しています。

温室効果ガスは皆さんの家庭のさまざまなおところから出されています。

何か特別なことをするよりは、「生活の中のエネルギー使用」を家庭で少しでも減らす「省エネ」を実行することにかかっています。

極的に支援し、環境への負荷の少ない循環型社会への転換および環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システムの設置者に対し、補助金を交付しています。対象となるのは、市内に住所を有し、自ら居住する市内の住宅にシステムを設置した場合です。

補助の内容・申請については詳しくは、市役所市民課(〇七七一―六八―〇〇五)までお問い合わせください。

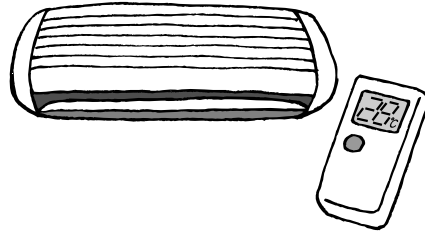




# 今こそライフ 省エネに

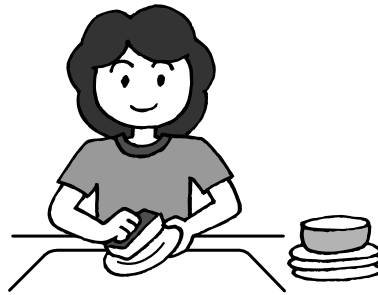
## 一人ひとりの省エネが 地球温暖化防止につながる

① 冷房は28℃、暖房は20℃に温度設定



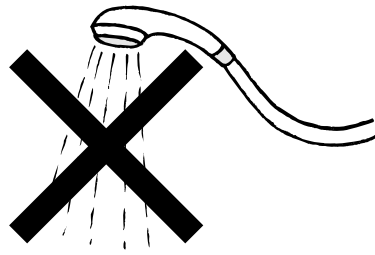
エアコンの冷房を従来より1℃高く、暖房を1℃低く温度設定する  
(年間1,833円の節約)

③ 洗い物をするときのお湯の温度設定は低めに



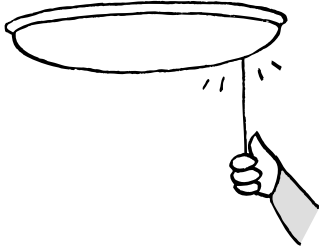
給湯器の温度を従来より1℃低く設定する  
(年間656円の節約)

⑤ シャワーを使うとき、お湯を出しっぱなしにしない



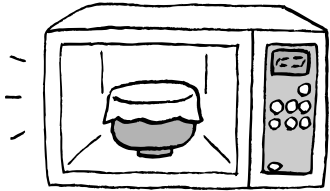
シャワーの時間を1分短くする  
(年間1,377円の節約)

② 家電機器をつけっぱなしにしない



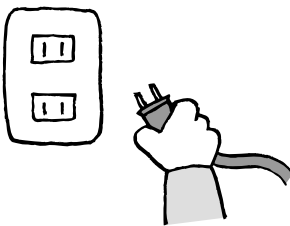
エアコン、テレビ、照明は、使っていない時は消す  
(年間2,328円の節約)

④ 煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用する



野菜などの下ごしらえをする場合、水から沸騰させる代わりに電子レンジで下ごしらえする  
(年間1,240円の節約)

⑥ 電気温水器を使わないときはコンセントを抜く



電源のスイッチをオフにし、コンセントからプラグを抜く  
(年間3,674円の節約)

一人ひとりが、身近な生活の中でできる省エネルギーは、家計の節約だけにとどまらず、省資源対策や地球温暖化防止につながります。

上記の取り組みは京都府の「京都府地球温暖化対策推進計画」の中で「わかりやすい行動モデル」として示されているものです。また、省エネによって削減できたエネルギーは、家庭での節約につながります。

ほかにも、車に乗るときには空ぶかしや駐車中のアイドリングはしない、エコバッグを持ち歩いてレジ袋を使わない、電気ポットを使わない時はコンセントを抜く、温水洗浄便座を使わないときはふたを閉めるなどもCO<sub>2</sub>削減に効果があります。

一人ひとりの身近な行動の積み重ねが、家庭からのCO<sub>2</sub>削減につながります。

お問い合わせ先

市役所市民課

TEL (077-71) 68-0005



# 水害に備えて訓練を実施 —八木町南地区水防訓練—



▲消防署員の指導で土のうを積み参加者

八木町南地区の自治会と、市消防団八木支団南分団による水防訓練が六月十日、大堰橋上流の河川敷で行われました。八木町南地区は昭和二十年代から三十年代に河川の水位が大堰橋を超える水害が多く発生したのを教訓に、水防訓練を毎年実施されています。今回の訓練では園部消防署員から土のうの作り方や積み方を教わった後、実際に四百個の土のうを作りました。また、起震車による地震の体験やAEDの取り扱いの講習会も行われ、参加した百五十一人は有事に備えて熱心に取り組んでいました。

▲消防署員の指導で土のうを積み参加者

「市民に身近な課題であり、しっかりと審議を進めたい」とあいさつ。その後、市水道事業所から南丹市の水道事業の現状が報告されました。今後、審議会では、市として適正で統一した運用制度、料金体系について話し合われます。

**市の水道運営の  
統一に向け審議**  
—第一回南丹市水道審議会—

六月二十八日、第一回南丹市水道審議会が市役所で開催され、市議会、婦人会、各自治会の代表ら八人の委員が出席しました。審議会では、会長に中川幸朗さん、副会長に大道芳夫さんが選任され、中川会長が



▲市の水道事業について審議が始まります



▲工事の安全を祈願されました

**新工場建設の安全と  
地域の発展を願う**  
—春日製作所新工場起工式—

六月二十九日、京都新光悦村で、春日製作所株式会社京都新光悦村工場新築工事の起工式が行われ、来賓として佐々木稔納市長や京都府職員、市職員ら関係者およそ三十人が出席しました。春日製作所株式会社（岡本昌子代表取締役社長）は精密機械加工、特に特殊金属やレアメタル加工における技術力で活躍されています。新工場は今年十一月に完成する予定です。

「新たな時代を見据えた活動を今後とも展開していきます」とあいさつされました。

J.Cは、二十歳から四十歳までの事業主が加入する青年団体で、現在三十五人の会員が、活動を行っておられます。式典では、J.Cの三十年の歩みを振り返った映像が上映された後、八田宣典理事長が

**船井青年会議所が  
創立三十周年を祝う**  
—(社)船井青年会議所  
創立三十周年記念式典—

六月九日、創立三十周年を迎えられた社団法人船井青年会議所（以下J.C）の記念式典を、南丹市国際交流会館で開催されました。



▲あいさつをされる八田理事長

## 災害から住民の生命と財産を守る —南丹市防災パトロール—



▲市内の危険個所を点検

参加した団員らは、京都中部広域消防組合の職員から消防団員としての心構えの講義を受けた後、礼式訓練、ホースの取り扱い、ホンプ操作など基本的な動作、規律訓練を中心に熱心に指導を受けていました。

災害から住民の生命と財産を保護するため、市内の危険個所を点検する防災パトロールを六月四日に行い、市や南丹広域振興局、南丹警察署、京都中部広域消防組合、南丹市消防団の関係者ら二十九人が、市内の八カ所を点検しました。

その後に行った会議では、危険個所の改善策を話し合ったほか、市内においても各機関での連携を深め、災害発生時の防災体制の充実と、防災工事の実施による対策などを確認しました。



▲熱心に訓練を受ける団員

**消防技術の向上に励む**  
—府消防協会南丹・船井支部  
警防指導員および新入団員訓練—

五月二十七日、京丹波町安栖里のわちグラウンドで、南丹市、京丹波町消防団の警防指導員および新入団員およそ二百八十人を対象とした訓練が実施され、消防技術の基礎知識の向上と士気の高揚に励みました。



▲供用を開始した都市計画道路

次回は、農業委員会では水稲の刈り取りが終わる十一月中旬に、農地パトロールを実施する予定です。

**市道内環状線が開通**  
—都市計画道路内環状線  
第一工区の供用開始—

平成九年から都市計画街路事業として整備を進めてきた、南丹市都市計画道路内環状線（第二工区）の工事が完了し、六月二十七日午後三時から供用を開始しました。

今回、供用を開始したのは市役所前交差点（園部町小桜町）から国道九号線本町交差点（園部町美園町）までの四百四十五メートルです。

今後、内環状線は市街地の交通環境の改善や地域の活性化を図るため、本町土地区画整理事業と連携し第二工区の整備を進めています。

**農地の荒廃防止と有効利用をめざして**  
—農地パトロールを実施—



▲遊休荒廃農地の現状を確認する農業委員

六月二十六日から二十九日までの四日間、南丹市農業委員会による農地パトロールが実施されました。

農地パトロールは、農業委員会が地域を巡回し、農地の無断転用や遊休荒廃農地の早期発見などを把握し、農地の有効利用の促進につなげていくことを目的に行われているものです。パトロールの結果は今後の農地部会などで検討されます。

# いよいよいよいよ南丹

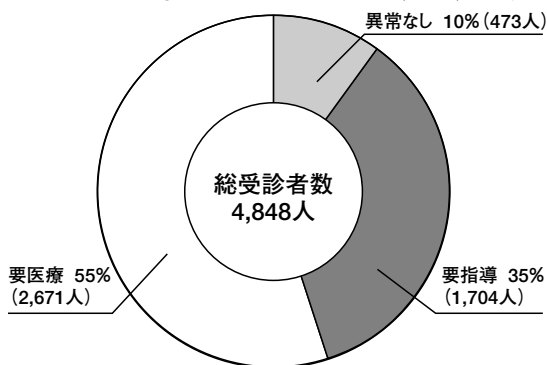
—16—

お元気ですか？  
保健師です。



## 健診結果を生かして健康づくりを始めよう 生活習慣を見直して病気を予防

平成19年度基本健康診査結果(集団) 図①



今年の市民健診(集団)は、市内の各保健センターを中心に十七会場で、四月九日から三十一日間実施しました。南丹市全体で基本健康診査は四千八百四十八人が受診され、総合判定の結果は図①のとおり、異常なしの方が十割と少ない状況でした。基本健康診査は、生活習慣病

各がん検診受診者数 ①表

がん検診項目	受診者数(人)	要精密検査者数(人)
胃がん検診	2727	182
肺がん検診	3938	72
大腸がん検診	3258	281
前立腺がん検診	1070	33
乳がん検診(マンモ併用)	1363	83
子宮がん検診	1880	8

やその危険因子を早期に発見し、栄養や運動などの生活改善や治療に結びつけることにより、生活習慣病を予防することを目的に行っています。受診された方にとっては、異常の無かった方も含めて自分の体に関心を持ち、生活習慣を振り返っていただくよい機会です。これを機に、自分にあった健康づくりを始めてみてはいかがでしょうかでしょう。

### ●日本人の死因のトップを占めているのががんです

がんは、予防や治療がまったくてきない病気ではありません。検診による早期発見・早期治療が大切になってきます。

今年の各がん検診の受診者数

は、①表のとおりです。健診結果をご確認いただき精密検査の必要な方は早期に医療機関で受診しましょう。また、がんの原因には、喫煙や飲酒、食事などの生活習慣が大きくかかわっていることが分かっています。

### がん予防八カ条

- ① 禁煙
- ② 飲酒は適量に
- ③ 野菜・果物を一日四百g
- ④ 食塩摂取は最小限に
- ⑤ 運動の継続
- ⑥ 適正体重の維持
- ⑦ 熱い飲食物は控えめに
- ⑧ 肝炎ウイルス感染に注意

### ●健康教室にご参加ください

南丹市では、生活習慣病のリスクの高い方を対象とした健康教室を各保健センターなどの会場で開催する予定です。基本健康診査の結果を基に、対象者の方にはご連絡させていただきますので、ご参加ください。

また、これ以外にも健康づくりに取り組もうとされている方を対象に市内のプールを利用して健康づくり教室を開催する予定です。詳細は広報誌などでお知らせします。

## 基本健康診査の内容が変わります

平成二十年度から、基本健康診査の内容が、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した健診内容に変更になります。これは、医療保険者に糖尿病などの生活習慣病に関する健康診査「特

定健診」と健診の結果からの保健指導「特定保健指導」の実施が義務付けられるようになったものです。詳細については、内容が決まり次第、お知らせします。

# ぶらり

なんたん 16

## と うた かぐら ～田歌の神楽(祇園祭)～

トウトウトと受け継がれる田歌の祇園祭

「やとーせえー、やとーな」  
美山川のせせらぎに、奴（や  
つこ）の掛け声と笛や太鼓の  
お囃子（はやし）が聞こえてきます。

「祇園さん」として親しま  
れる美山町田歌の八坂神社。  
ここで、毎年七月十四日に行  
われる「田歌の神楽」では、  
鬼（やせ）役の子どもを先頭  
に、てんぐや奴、火男（ひよ  
つとこ）、お多福などが、祭り  
の当番役となる「宿」から神  
社への道中を練り歩きます。

神社へ着いた一行は、神事  
の後、「かぐら」「さんざり」  
「三の舞（さんばそう）」など  
を奉納します。老いも若きも



▲「宿」から八坂神社まで一行が練り歩きます

成三年に京都府の無形民俗文化財に登録されました。地名にもなった田歌（とうた）は、足を踏ん張って力強く太鼓を奉納することから「踏歌（とうか）」や、「踏田（田楽）舞い」などが由来と言われます。豊作を願う古き良き芸能が山あいの集落に受け継がれ、とうとうと鳴り響く太鼓が本格的な夏の到来を告げます。



▲神楽の奉納「三の舞（さんばそう）」

太鼓の腕自慢、ひよつとことお多福の掛け合いに、こつけない爺との絡み（じょう）が加わり、集まった人々の心をくすぐります。

この「田歌の神楽」は、平

### ぶらり案内



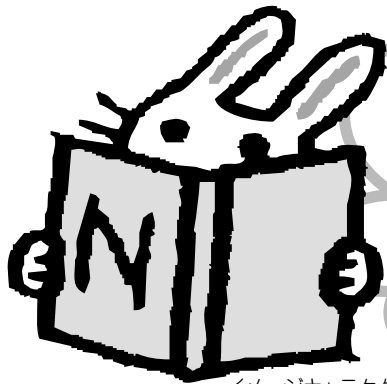
田歌区長 大牧 祥一さん

「田歌の祇園祭は、年に一度、集落のみんなが集まって心一つになれるとき」と、田歌区長の大牧祥一さん。「田歌で生まれ育った子は、みんな小さいころから祭りの太鼓や笛を教わり、誰でもできるようになります。楽譜も書いたものもないし、昔から人から人へとずっと教え継がれてきたんです」田歌地区には1ターンの移住者も多く、この祭りで笛が吹けるようになってこそ、一人前の土地の者として認められるそうです。「今は、習わしで役を務めるのは男性のみですが、これからは女性の参加も考えていきたいと思います」と話していただきました。

むらかみゆきひこ創作  
「田歌の田の歌」※抜粋

昔むかし、ひどい飢饉に襲われて、村人は困り果てよった。そんなある日、芦生の天狗峠の方から、赤い顔で立派な鼻の天狗が、自分のカラス天狗、その自分のカラスを引き連れてやってきおった。天狗は、村人がカラス踊りをして辱めた仕返しにやって来たと言う。八坂神社の神主が「大切な種をほじくったお仕置きじゃ。今度の祭りじゃ天狗踊りもせにやならんわい」と笑うと、天狗は一層真っ赤になって怒り、カラスたちはカヤ屋根をほじくっては大きなフンをたれ、飛び帰っては、またフンをひりよったんじや。ところが、春になるとカヤ屋根に菜の花が咲き、麦が穂をつけた。カラスのフンにまじった種がカヤ屋根にまかれ、そりや立派な作物が実って大豊作。村は活気づき、田んぼも楽しそうに歌うとるようじやった。ほいで村の名は田歌となり、それから毎年、八坂神社の田楽としてお祭りが行われておるんじや。

※「田歌」は行政区名としては「たうた」と表記しますが、「とうた」の呼び名で親しまれています。



イメージキャラクター“なびっと”

# 図書館へようこそ!

今月号から始まった『図書館へようこそ!』では、市内に四つある図書館・室の新刊情報・図書館主催の行事や子育て支援に関する身近な情報をお届けします。

## 『うちどく』のススメ 〜本を通して親子で会話を〜

『朝読(あさどく)』(学校などでの朝の読書)は、今や日本中の小中学校で取り組まれ、南丹市においてもすっきり定着しました。

そんな家族が少しでも増えることを楽しみに、図書館のカウンターで来館をお待ちしています。

最近では『うちどく』(家読)と言って、学校だけでなく家庭でも、子どもをお手本にして家族ぐるみでの読書活動と呼びかける運動を、町ぐるみで行うところもでてきました。家族で一緒に読書する時間を共有し合い、時には同じ本を読んだ感想を、食事をしながら話し合うのも、とてもステキな家族の時間ではないでしょうか。



▲家族で読書を楽しんでみましょう

みんなの読む図書館の本です。  
大切に使いましょう。

## 新刊紹介



「正義のミカタ」  
作：本多孝好  
発行：双葉社

高校時代にいじめられた経験のある主人公は、大学入学を機に『正義の味方研究部』に入部し、学内のトラブルの解決に奔走します。そして、次第に本当の正義とは何かを考え始めます。



「朝ごはんは何を食べるかで脳の発達が決まる」。  
脳トレ教授 川島隆太の「脳は朝ごはん決めて決まる!」  
発行：ヴィレッジブックス

「朝ごはんは何を食べるかで脳の発達が決まる」。脳トレ先生として有名な川島隆太氏が提案する朝ごはんレシピ本。なぜ朝ごはんが大切か、限られた時間で朝ごはんをとるためのメニューや工夫を紹介。



月日	7月							8月										
	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)
中央図書館			休							休		話						休
八木図書室	話		休							休	休		話					休
日吉図書室			休							休	休							休
美山図書室			休	休						休		話						休

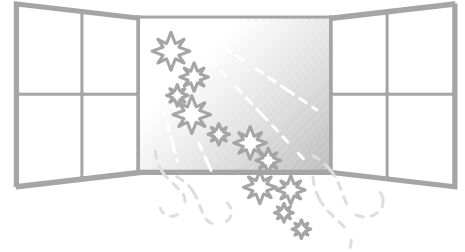
  

月日	8月																
	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	31(金)
中央図書館						休							休				
八木図書室						休				話			休				話
日吉図書室						休							休				話
美山図書室						休							休				休

休…休館日 話…お話し会

## 「言葉の前に感性で」

人権の窓を開けて、優しい陽の光と、さわやかな風を感じてください



「自然に胸が響くのか。気がついたら体全体が鳴り響いているのに気がついた。感動した。でも、これを言葉に変えといわれても難しいなあ。そやけど、すごかったし」

日本でも有数の和太鼓演奏団や国際的な少年合唱団の合唱を鑑賞したときに聞いた、中学生の感想でした。そして、しばらくして、音楽の授業を熱心に取り組みだしたと聞かされました。

物事の良さを感性で受け止めて、「良かった」と思うことを自らも表現していく。このことは、人を尊重することや生命を大切にすることについても同様のことがいえるのではないだろうか。人との出会いや何気なく毎日交わすあいさつにも、人を大切にしたいが響き合うものでありたいです。

生命の重要性を表現するのに「命は地球よりも重い」とよくなります。母親にぎゅっと抱きしめられた強さや、厳しく叱られた父親の姿に、「生かされている自分の命」や「自分のことを思ってくれている人がいる」こと

や、「人として生きることへの切実な願い」を実感したことがしばしばありました。私たちは、言葉で理解するとともに、人を通して体感し、自然に学んでいくことが多いものです。人は人にとって最大の環境ともいいます。

いま、児童虐待、そして親子や親族、家族間で起こる生命にかかわる痛ましい事件や事象などを聞くときに、言葉による理解だけでなく感性によって体感する自尊感情や存在感の醸成の重要性が問われているように思います。

私は常に、人は人によって生かされていることを思っています。それだけに、人を尊重し、大切にできる認識を強く持つて人と出会うことができるように、人権についての学びを進めたいと思います。

また、「おはようございます」「ただいま、かえりました」とあいさつする子どもたちは、地域社会の人々の温かいまなざしを感じているからだと思っています。

(教育委員会教育長

牧野 修)



抽象彫刻「未知への階段」  
松本 麻希さん (3年)



「ペン皿」  
仲 麻美さん (2年)



デッサン「私の手」  
川勝 聖也さん (1年)



抽象彫刻「無数の窓」  
今西 千耀さん (3年)



「ペン皿」  
西河 英理子さん (2年)



デッサン「私の手」  
谷口 結香さん (1年)

なんたんミュージアム  
—南丹市立八木中学校—

6月17日から1泊2日、美山町島にある「かやぶき美術館」で行われた「蛍かご作りと田舎体験」に大阪や東京などから多くの家族連れが参加しました。今は捕獲が禁止されていますが、昔はホタルを入れて光を楽しんだら細工「蛍かご」を、参加者は地元の方に教わって作り、夜には地元の川でホタルを観察しました。たくさんのホタルが発光しながら川辺を舞う姿に、参加者らは見入っていました。

(6/17・蛍かご作りと田舎体験)

## 「幻想的なホタルの光を満喫」



▲地元の方に教わりながら蛍かごを作りました

(6/9・歌聴風月'07酒蔵アコースティックライブ)

## 「酒蔵の雰囲気と音楽のリズムに酔いしれる」



▲酒蔵で行われたコンサート

「八木を音楽のまちに」と地元の音楽愛好家ら27人でつくる実行委員会が主催する音楽イベント「歌聴風月」が八木町八木の八木酒造の酒蔵で開かれ、市内や亀岡市、京都市などから300人が訪れ、盛り上がりしました。

ライブでは音楽デュオ「class」の元メンバー、津久井克之さんや現役祇園芸妓シンガーのMAKOTOさんらが、オリジナル曲などを披露。訪れた人たちも、酒蔵の雰囲気と音楽のリズムに酔いました。

# みんなのひろば

## まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

## 「芦生の広大なブナ原生林をハイキング」

(6/2・なんたん・わくわくキッズ「芦生ハイキング」)

市教育委員会が主催する「なんたん・わくわくキッズ 芦生ハイキング」が行われ、市内の小学校の4年生から6年生までの46人が参加しました。

なんたん・わくわくキッズは、市内の豊かな自然環境の中で、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育み、協調性や連帯感を育てながら、子どもたちの健全な育成に取り組んでいます。

一行は美山町の京都大学芦生研究林事務所からバスで長治谷まで上り、そこから杉尾峠を目指して自然林の中を約4kmハイキング。広大なブナの原生林として有名な研究林で、草花を観察したり木に聴診器を当てて、水を吸い上げる音を聞いたり、豊かな自然を楽しみながら歩きました。



▲木に聴診器を当てると、水を吸い上げる音が聞こえます





▲防火の願いを込めて短冊を笹に取り付けました

京都中部広域消防組合園部消防署と市内の保育所、幼稚園で構成する南丹市幼年消防クラブでは「防火七夕会」を行いました。参加したのは、園部・聖家族幼稚園と胡麻・興風・日吉中央保育所、須知保育所（京丹波町）の園児ら166人。

それぞれ「かじになりませんように」「ひとりでひあそびしません」など書いた短冊を竹に飾り付け、防火への願いを込めていました。

（6/28・南丹市幼年消防クラブ「防火七夕会」）

「ぼくたちわたしたちは絶対に火遊びはしません」

障がいの有無にかかわらずさまざまな体験を通して交流する「ふれあい交流事業」が旧五ヶ荘小学校で行われました。

好天に恵まれたこの日は、市内の小学生や高校生ボランティアら35人が参加。最初に自己紹介を行った後、校舎内に用意された畑に、協力してサツマイモやサトイモの苗を植えました。その後、昼食にカレーライスを作って一緒に食べながら、親睦を深めました。



▲みんなで協力した芋の苗の植え付け

「一緒に楽しみながら親睦を深める」

（6/17・ふれあい交流事業）

「真剣なまなざしで楽しくサッカー」

（6/9・バニーズ「サッカークリニック」）



▲広いグラウンドの上でボールをける子どもたち

日本女子サッカーリーグ（通称「なでしこリーグ」）バニーズ京都サッカークラブの選手やコーチによる「サッカークリニック」が南丹市園部公園グラウンドで行われ、市内の小学生およそ50人が参加しました。

子どもたちはグループに分かれてボールのけり方や体の使い方を教えてもらい、熱心に取り組んでいました。最後のミニゲームでは、真剣なまなざしでボールを追いかけて、プレーを楽しんでいました。

「子どもから高齢者まで、一緒に楽しく運動」

（南丹市体育指導委員巡回スポーツ教室「ビーチボール教室」）

市民のスポーツ振興および活動の促進を目的に活動されている南丹市体育指導委員会が、子どもから高齢者までがスポーツに親しんでもらおうと、「ビーチボール教室」を市内の各中学校体育館で行いました。

「ビーチボール」は柔らかなビーチボールを1チーム4人でバレーボールの要領で打ち合うゲームで、安全に楽しめるスポーツです。

教室では、市体育指導委員がルールについて説明した後、参加者らが実際にコートでゲームを行い、楽しみながら汗をかきました。



▲ビーチボールを楽しむ参加者



■日吉山の家「ホタルイルミネーション」

6月16日に日吉山の家で行われた「ホタルイルミネーション」に市内外から10組の親子連れが参加しました。豊かな自然の中で、ホタルが明滅しながら飛び交う光景は、自然の大切さを私たちに語りかけているようです。

八月一日から、市役所の組織体制が変わります。広報「なんたん」も、新体制の下で、南丹市のまちづくりや自然、文化など皆さまの知りたい情報や、まちの元気と感動を、どんどんお伝えしていきます。また、皆さまの声が市政に届くよう、広報活動も積極的に進めていきます。今後とも、南丹市の広報・広聴活動にご協力をよろしくお願ひします。

編集後記



●園部町 芳村 里子ちゃん (1歳4ヵ月)

「いつまでもその笑顔を忘れずに、優しく、そしておもしろいのある子になってね」  
(パパ・ママより)



- 総人口：35,819人 (-52)  
(男：17,230人・女：18,589人)  
(-12) (-40)
- 世帯数：13,570世帯 (+6)

(平成19年7月1日現在)  
( )内は前月比

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは企画情報課秘書広報係まで

広報  
**なんたん**

編集・発行：南丹市役所 総務部企画情報課  
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL：0771-68-0003 FAX：0771-63-0653  
URL：http://www.city.nantan.kyoto.jp  
e-mail：kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、古紙100%の再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。